

【解答例】

(I)

- 問1 クリム＝ハン国は長くオスマン帝国の宗主権下にあったが、ロシア＝トルコ戦争に敗れて宗主権が放棄されると、ロシアがクリム＝ハン国を支配し、その傀儡としてギライが統治した。その後、ロシアがクリム＝ハン国を併合して黒海北岸を領有して黒海の制海権を獲得すると、オスマン帝国はギライをスルタンへの反逆者とみなして処刑した。(155字)
- 問2 イヴァン3世時代にキプチャク＝ハン国の支配を脱したモスクワ大公国は、イヴァン4世時代にカザン＝ハン国を併合し、イェルマークの協力でシビル＝ハン国を征服して東方へ領土を拡大した。ツァーリの称号を継承してロシアを支配したロマノフ朝はシベリア東部に進出し、ピョートル1世は清の康熙帝とネルチンスク条約を結び国境を画定した。(158字)

(II)

- 問1 エ
- 問2 明代初期は農業主体の経済で商工業の発展が停滞していたうえ、海禁の影響により中国産陶磁器の流通が減少した。(52字)
- 問3 豊臣秀吉の侵攻によって朝鮮半島から多くの陶工が日本に連行され、陶磁器技術が伝わった。清が鄭氏台湾の孤立を目的に発した遷界令による海禁の影響で中国産磁器の輸出が減少すると、その代替製品として日本産磁器が注目され、江戸幕府と貿易関係にあったオランダの東インド会社による中継貿易を通じて、有田焼が世界各地に輸出された。(156字)
- 問4 ウ

(III)

- 問1 19世紀末の反ユダヤ主義を背景にシオニズムが高揚し、第一次世界大戦中にはイギリスがパレスチナでのユダヤ人国家建設を支持するバルフォア宣言を発して秘密外交を行い、終戦後のパレスチナはイギリスの委任統治領となった。1930年代以降、ナチス＝ドイツの迫害の影響でパレスチナへのユダヤ人移民が急増し、アラブ人との対立が深まった。第二次世界大戦後にイギリスによる委任統治が終わると、国際連合がユダヤ人に有利なパレスチナ分割案を決議し、これにもとづきイスラエル建国が宣言されたが、アラブ連盟が拒否したため開戦に至った。(253字)
- 問2 オスロ合意を経て、1994年にパレスチナ暫定自治政府が成立して自治が始まったが、イスラエルのラビン暗殺で対立が再燃した。PLOのアラファト死去で和平は頓挫し、ハマースによるガザ制圧により、PLOが分裂した。(103字)